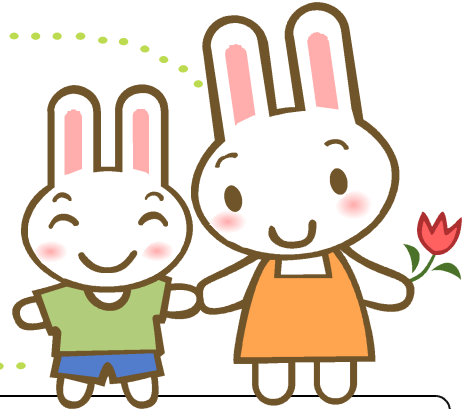




ぐんま 幼児教育センターだより

第24号



新制度下で求められる幼児期の教育・保育について

群馬県健康福祉部こども未来局長 中村 弘子

全国で様々な議論を呼んだ「子ども・子育て支援新制度」が、今年4月にスタートしました。これまで学校教育と児童福祉に分かれ、別々に発展させてきた制度が、大きく見直されました。背景にあるのは、少子化に歯止めがかからない、深刻な現状です。その原因は様々ですが、保護者にとっては共稼ぎが普通になり預け先が不足、子どもにとっては集団遊びができず社会性が育たない、社会にとっては地縁血縁が薄れ、保護者の貧困や孤立化が進むなど、子育ての環境が悪化しています。こうした中、多様化する保護者や社会のニーズにしっかり応えてゆくために設計されたのが、新制度です。



各園では、今まで以上にこうしたニーズに向き合うこととなります。家族や地域の手が細る中、先生方は、子どもと家族の様々な事情を日々受け止め、励ましておられます。お話を伺う都度、頭が下がる思いで一杯です。深刻な事情によっては、行政や心理・社会福祉等の専門家の対応が必要になります。こうした専門機関との連携を日常から深め、保護者の最も身近な相談相手として、橋渡しの大役をお願いいたします。

もう一つ、心も体も健やかに育ちたい子どものニーズは何より大切です。起きている時間のほとんどを園で過ごす子どもに、各園が様々に研究を重ね、教育に工夫をこらしてきましたが、「何を教えていくか」、新制度になっても大切な原則は変わりません。子育て経験が浅い保護者は様々な情報に戸惑いがちですが、各園が、わかりやすく丁寧に説明することで、我が子の成長を共に楽しむ気運が上がると思います。

現在、小学校で問題行動を起こしてしまう児童が増え、教育・保育の充実と小学校との連携が重要になっています。各園での研修や研究が益々困難になる中、「より健やかな子どもの成長」を目指すには、今までになかった工夫が求められます。子どもの柔らかな意識の奥に希望の種火を灯すのが、保育者です。どんな環境の中でも生きていけるよう「人や環境と関わる楽しさ」「人のために何かができる喜び」「自分を大切にできる自信」を、子ども一人ひとりに、しっかり育てていただきたいと心から願っております。

平成27年度 家庭教育充実のための地域で取り組む子育ての支援者研修会 実施報告

家庭教育の充実を目指し、地域で活躍する子育て支援者のスキルアップを図ることを目的に、年間6回の研修会を開催しました。全6回で参加者209名となり、大変多くの皆様に参加していただきました。

【第1回】子育て支援基礎研修 (6/2) 群馬県総合教育センター

テーマ「子育て支援の現状と課題」

前田由美子先生 (共愛学園前橋国際大学)

「子育ての支援事例発表」

ひまわり保育園 (桐生市)、ろっくひよこプリスクール (前橋市)、
富岡ひばり保育園 (富岡市)



はじめに、前田先生から現在の親たちを取り巻く状況や課題、子育て支援に当たるときの心構え等について説明がありました。続いて、3つの園が子育て支援事業の事例発表を行いました。

【参加者の声】・保護者と話すときは"聴く"という姿勢が大切であることがわかった。



- ・親だけでなく祖父母との関係や社会背景も考えて対応する必要があることがわかった。
- ・どの園も子育て支援について工夫されており、自園でも取り入れていきたい。
- ・子育て支援の担当なので、どの園の発表もとても参考になった。

など

【第2～5回】子育て支援共通課題研修 (9/11 伊勢崎市 9/15 高崎市 10/6 沼田市 10/14 東吾妻町)

テーマ「気になる幼児をもつ保護者への支援」

9/11, 15 秋松宗雄先生 (児童発達支援センターつくし園)

10/6, 14 今井寿美枝先生 (チャイルドハウスゆうゆう)

「保護者対応の基本」

9/11, 15 10/6, 14 群馬県総合教育センター 指導主事

はじめに、秋松先生・今井先生からは、気になる幼児への対応や保護者への接し方等、具体的な事例を基に説明がありました。

続いて本センター指導主事が保護者への対応の仕方を説明し演習を行いました。



【参加者の声】・保護者への対応の実際や具体的な内容を聞くことができてとても勉強になった。



- ・不自由に感じている子供の気持ちを知ることができてよかった。
- ・自分が悩んでいることについて、分かりやすく話してもらえ、大変有意義な研修であった。
- ・講義と演習の両方を取り入れた研修で良かった。

など

【第6回】実技研修 (11/6) 群馬県総合教育センター

テーマ「伝承遊び・絵本と子育ての支援」

横山由美子先生 (子育て支援センターぴよぴよの会)

横山先生から、0～6歳の乳幼児の発達段階に合った手遊びやわらべうた、絵本について説明がありました。また手遊びやわらべうたについては実技を通して学びました。



【参加者の声】・わらべうたや手遊びが子どもの発達を促すことにもつながることが分かった。



- ・親子で楽しめるわらべうたを、もっと園でも取り入れて行きたいと思う。
- ・子どもの年齢や絵本の内容とのかかわりなど絵本の選び方も大切であることがわかった。
- ・とても良い内容で、参加できて良かった。現場で生かせる内容であった。

など

平成27年度 夕やけ保育研修会 実施報告

夕やけ保育研修会は、幼児教育をめぐる諸課題解決のため、地域の教育・保育関係者が共に考え、話し合い、幼児教育の充実・向上を目指す研修会です。この研修会の最大の特徴は、講師や指導主事が県内各地に出向き、15時～17時頃に研修を行っていることです。

今年度の夕やけ保育研修会は、現在までに安中、榛東、中之条、館林、みなかみ、渋川、片品、邑楽の8会場で開催し、278名の先生方に御参加いただきました。普段地理的、時間的な制限により、総合教育センターの研修に参加できない方々にとって貴重な研修会になっています。研修会の内容の一部を紹介させていただきます。

「乳幼児期に必要な運動遊び ～群馬の子どもの運動遊びの現状を踏まえて～」

高崎健康福祉大学講師 山西 加織 先生

(みなかみ町・渋川市・邑楽町)

幼児教育センターが昨年度実施した「幼児期の運動遊びに関する調査」の結果を基にして、県内幼児の運動遊びに関する課題を挙げ、その解決を目指した運動遊びについての実習を行いました。

「いろいろな動きを経験していない」、「『はう』『よける』『回る』『転がる』動きが不足している」という県内幼児の運動遊びに関する課題を解決するための「運動遊びの中でいろいろな動きを引き出すポイント」について、体を動かしながら楽しく学ぶことができました。



【参加者の声】・講義と実習がバランスよく組み込まれていて楽しく研修できた。



- ・保育者が意識を高く持つだけで、子どもの経験する動きの種類が大きく変わることに気づいた。
- ・普段やっていることを少し変えることで、子どもも保育者も成長できると感じた。 など

「子どもの姿の読み取りと意図的な保育」

元明和短期大学教授 田子 文子 先生

(榛東村)



講師の田子先生が、保育の一コマを切り取った事例を示し、参加者がそこから幼児の姿を読み取り、グループで協議する形式で研修会は進みました。

グループ協議は、田子先生も話し合いに加わるなど、様々な角度から意見が出され充実したものとなりました。

保育の一場面について、一人一人が考え協議する機会がなかなかない中、他の参加者の保育に対する考え方や幼児の見方に接することで、自分自身の保育を見直すきっかけとなったようです。

【参加者の声】・事例を基に話し合う研修形態は経験したことがなかったので、大変よかった。



- ・保育者にとって「保育の見取り」は基本であり、その基本について学べて勉強になった。
- ・保育の1コマを切り取りみんなで考えることは、保育の力を伸ばす第一歩だと感じた。 など

今回は紹介できませんでしたが、「保育で培う幼児の生きる力-おこづかいが子どもの人生を変える-」（安中市）「保育における健康と安全」（中之条町）「保育に生かせる手作り教材」（館林市）「気になる幼児の保育」（片品村）も好評を頂きました。

なお、「子どもの感性を育む音楽遊びと音への気付き」を12月25日（金）に群馬県総合教育センターで開催します。忙しい年の瀬ですが、是非ともご参加ください。

来年度も県内9箇所での開催を予定しています。場所、内容等は後日お知らせ致します。

平成27年度 研修講座 実施報告

群馬県総合教育センター幼児教育センターでは、幼稚園等教諭・保育教諭を対象とした各種研修講座を実施しています。今年度も多くの先生方が受講し、大変熱心に取り組んでいました。今年度実施した研修の中から、2つ紹介します。



幼稚園等新規採用教員研修

今年度新たに公立幼稚園等教諭となった方々を対象に年間10日の研修を実施しています。幼稚園等教諭として身に付けなければならない事項を、座学だけではなく、実習も取り入れ実践的に研修を進めています。

10月には桐生市立広沢幼稚園にご協力を頂き、実際の保育を参観し、保育研究会を実施しました。学ぶことがたくさんあり、貴重な研修となりました。

また、本年度から新規採用公立幼保連携型認定こども園の保育教諭の方も一緒に学んでいます。



幼稚園等10年目経験者研修

公私立幼稚園等の19名の先生方を対象に、幼稚園等10年目経験者研修を実施しています。

ミドルリーダーとして、園や家庭、地域を支え、さらには牽引する力を身に付けてもらおうと年間9日間の研修を進めています。各自が課題を設定し、論理的にその課題解決に向けて実践を積み重ねる「自己課題研修」を柱として、小学校の先生方と協議する「幼小接続」の研修や、異業種を体験して自己の成長に生かす「社会体験研修」など、ミドルリーダーとしての識見を広げるための研修も実施しています。



夕やけ保育研修会 特別研修会

子どもの感性を育む音楽遊びと音への気付き

日時 12月25日(金) 14:00~16:00

場所 群馬県総合教育センター 講堂

講師 岡本 拓子 先生

(高崎健康福祉大学教授)

鳥居 央 さん (ギタリスト)



「歌のおねえさん」としての活躍経験もあり、現在は「Hiro & escells」(ヒロ&エセル)というユニット名で保育現場や親子を対象としたコンサート活動を精力的にされている、高崎健康福祉大学の岡本先生による講演会&実技研修会&ミニミニコンサートです!

子どもと遊べる歌(劇遊びに使える歌や手遊び歌など)を紹介してもらったり、声の重なりや響きの美しさを楽しんだりする、歌を中心とした研修会です。

平成27年の最後に、楽しく学べる研修会には是非ご参加下さい!

群馬県伊勢崎市今泉町一丁目233-2



お申込・お問合せ先

群馬県総合教育センター
幼児教育センター



電話 0270-26-9203

FAX 0270-26-9222